




財源は？

- LRTは建設費は、キロ10～20億円程度
- 国土交通省が創設した「LRTプロジェクト」とすることで、インフラ建設は各種補助金の適用も可能
- 人口20万人を越える水戸のような都市集積があれば、都心軸の運行採算は十分見合うものと思われる（運賃収入 > 運行経費）
- 集客力の高い公共交通ができれば、バスも含めた全体の採算性も改善
 - 厳密な計算は別途必要



運営などの方法

- 2007年のいわゆる「地域交通再活性化法」で、軌道の上下分離も制度的に認められたため、インフラと運行を上下分離することにより、運行は民間委託で実施することが可能。
- 委託された事業者は初期コストの負担なし。



政府はLRTを中心とした交通まちづくりを推進

- 補助制度の拡充（LRT総合事業の展開）
 - 国土交通省では都市・地域整備局、道路局、鉄道局が一体となって推進
- 「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の成立・施行（2007年）
 - やる気のあるところには援助
- 国会では新交通推進議員連盟によるロビー活動
- 国土交通大臣が、公共交通重視という観点から「交通基本法」の検討を開始



おわりに

- 交通まちづくりは、高齢社会で皆が豊かに暮らせるためには必須。
- 地方都市の場合、人と環境に優しく、経済性も備えるまちづくりのツールとしてLRTを用いることができる
- 制度的なLRT支援の枠組みは整いつつある
- 水戸の活性化にもLRTを軸に、交通まちづくりができるのではないか